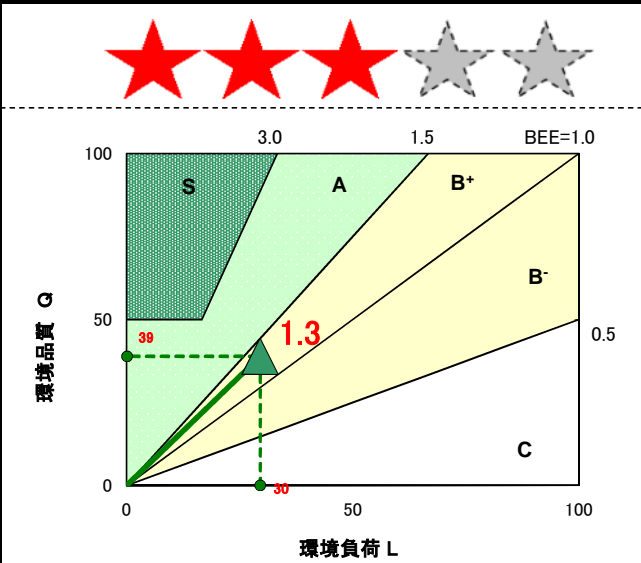


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	小野建株式会社 熊本支店新築工事	階数	地上1階		
建設地	熊本県上益城郡御船町大字小坂字	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内、準工業地域	平均居住人員	50人		
気候区分	7地域	年間使用時間	3,000時間/年		
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年11月2日		
敷地面積	23,933 m ²	作成者	株式会社 太宏設計事務所		
建築面積	14,349 m ²	確認日	2020年11月2日		
延床面積	14,158 m ²	確認者	株式会社 太宏設計事務所		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.3

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

59%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

	81
--	-----------

評価点

- 【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進
- 【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現
- 【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全
- 【重点事項4】 循環型社会の実現

97.5
52.5
77.5
81.0

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小野建株式会社 熊本支店新築工	階数	地上1階
建設地	熊本県上益城郡御船町大字小坂字	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、準工業地域	平均居住人員	50人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年11月2日
敷地面積	23,933 m ²	作成者	株式会社 太宏設計事務所
建築面積	14,349 m ²	確認日	2020年11月2日
延床面積	14,158 m ²	確認者	株式会社 太宏設計事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★☆☆☆☆☆

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.8
Q2 サービス性能: 3.1
Q3 室外環境(敷地内): 1.8
LR1 エネルギー: 4.2
LR2 資源・マテリアル: 3.4
LR3 敷地外環境: 3.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 81

重点事項1: 温室効果ガス排出削減の推進

評価点 = 97.5

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現

評価点 = 52.5

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全

評価点 = 77.5

重点事項4: 循環型社会の実現

評価点 = 81.0

重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

道路面からの圧迫感に考慮し、透明感を強調するため、建物正面のファサードは縦型のカーテンウォールを採用した。また、周囲との景観の調和やまちなみへの潤いを生み出すために、敷地周囲と事務所前面に緑地を計画した。

Q1 室内環境

- ・ F☆☆☆☆ 建材を使用。
- ・ 全館禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮。
- ・ 倉庫棟は風が抜けやすいように、出入口を出来るだけ対面させる計画とした。

Q2 サービス性能

- ・ 階高にゆとりを持たせ、建物自由度を高めた。
- ・ 設備系統はメンテナンス性を考慮した計画とした。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・ 敷地内に緑地を設け、遮熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

- ・ 一部にLow-eガラスを採用し、遮熱性を高めた。

LR2 資源・マテリアル

- ・ 断熱材はすべてノンフロン。

LR3 敷地外環境

・ 適正な数の駐車スペースを計画し、出入口附近での車両の軌跡検討や、出入口の間口を十分確保することで、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 小野建株式会社 熊本支店新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		81
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				97.5	0.40	39.00
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				52.5	0.20	10.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				77.5	0.20	15.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				81	0.20	16.20
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2016年版
小野建設株式会社 熊本支店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境					0.30		-		2.8
1 音環境				2.2	0.15				2.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40				
1.2 遮音				2.2	0.40				
1 開口部遮音性能				3.0	0.60				
2 界壁遮音性能				1.0	0.40				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-				
1.3 吸音				1.0	0.20				
2 温熱環境				2.0	0.35				2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50				
1 室温				3.0	0.38				
2 外皮性能				3.0	0.25				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38				
2.2 湿度制御				1.0	0.20				
2.3 空調方式				1.0	0.30				
3 光・視環境				3.3	0.25				3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30				
1 昼光率		昼光率:2.55%【事務所】		5.0	0.60				
2 方位別開口					-				
3 昼光利用設備				3.0	0.40				
3.2 グレア対策				3.0	0.30				
1 昼光制御				3.0	1.00				
3.3 照度				3.0	0.15				
3.4 照明制御				3.0	0.25				
4 空気質環境				4.0	0.25				4.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0	1.00				
4.2 換気				3.3	0.30				
1 換気量				3.0	0.33				
2 自然換気性能		0.056(1/30以上)		4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33				
4.3 運用管理				5.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				-	-				
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙、喫煙スペース設置(室外)		5.0	1.00				
Q2 サービス性能				-	0.30				3.1
1 機能性				2.9	0.40				2.9
1.1 機能性・使いやすさ				2.0	0.40				
1 広さ・収納性		執務スペース:9㎡/人以上(9.643㎡/人)		4.0	0.33				
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33				
3 バリアフリー計画				1.0	0.33				
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30				
1 広さ感・景観		【事務所】天井高:3.85m		5.0	0.33				
2 リフレッシュスペース		自販機設置		5.0	0.33				
3 内装計画				1.0	0.33				
1.3 維持管理				3.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		①②③⑥⑩		4.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30				2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要3種類のうち2種類以上にBを使用Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.6	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				2.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	【事務所】階高:4.1059m【工場】階高:6.688	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	【事務所】比率:0.159【工場】比率:0.036	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	仕上げ材、構造部材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材、構造部材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.62	5.0	0.01		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.45	5.0	0.62		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	節水コマ、節水型機器	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン、	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能(LGS下地) 再利用できるユニット部材(OA707)	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	硬質ウレタン変成イソシアレートボード、硬質ウレタンフォーム、グラスウール	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:59%	4.6	0.33		-	4.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	行政指導なし、雨水対策あり	4.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐輪、駐車スペース確保、出入口配慮	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		-	-		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	1.00		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインを満足、広告物照明の取扱いなし	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	